

高齢者に関する調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

○高齢者の暮らし方や健康状態等を把握し、介護予防や地域の支え合いの仕組みを構築するためのデータの収集及び介護保険事業計画策定のための基礎資料とするため実施しました。

項目	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査対象者	佐賀中部広域連合域内（佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町）在住の要介護認定を受けていない 65 歳以上の方※要支援認定者を含む
調査数	15,000 人
調査方法	郵送配布及び郵送回収、WEB 回答による本人回答方式
調査期間	令和 7 年 12 月 26 日（金）～令和 8 年 1 月 18 日（日）
調査票回収数	8,193 件
回収率	54.6%

(2) 在宅介護実態調査

○「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するためのデータを収集するとともに、介護保険事業計画策定のための基礎資料とするため実施しました。

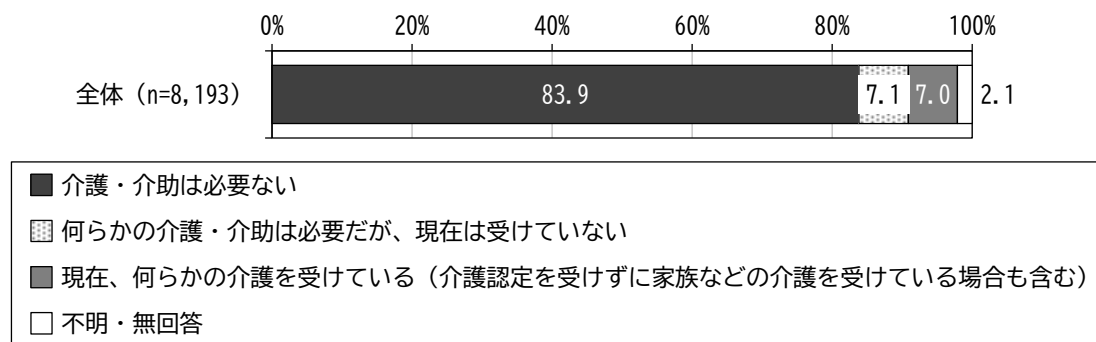
項目	在宅介護実態調査
調査対象者	佐賀中部広域連合域内（佐賀市・多久市・小城市・神埼市・吉野ヶ里町）在住の在宅で生活する要支援・要介護認定を受けている 65 歳以上の方
調査数	1,000 人
調査方法	認定調査員による聞き取り、WEB 回答による本人回答方式
調査期間	令和 7 年 12 月 26 日（金）～令和 8 年 3 月 31 日（火）
調査票回収数	754 件
回収率	75.4%

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果（抜粋）

（１）介護・介護者の状況

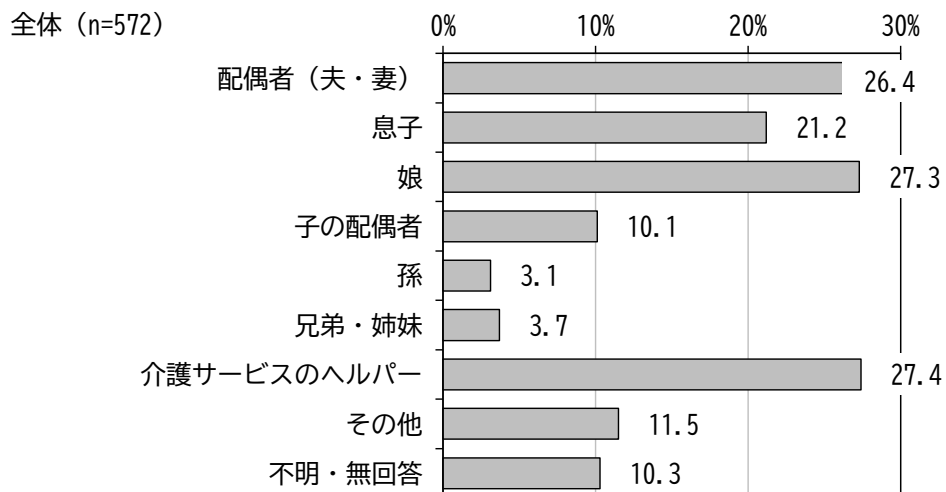
【介護・介助の状況】

○普段の生活での介護・介助の状況についてみると、「介護・介助は必要ない」が 83.9%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.1%となっています。



【主な介護・介助者】

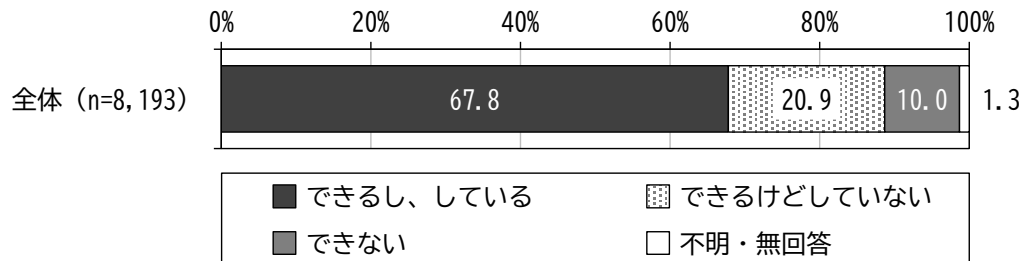
○主にどなたの介護、介助を受けているかについてみると、「介護サービスのヘルパー」が 27.4%と最も高く、次いで「娘」が 27.3%、「配偶者(夫・妻)」が 26.4%となっています。



（２）からだを動かすこと

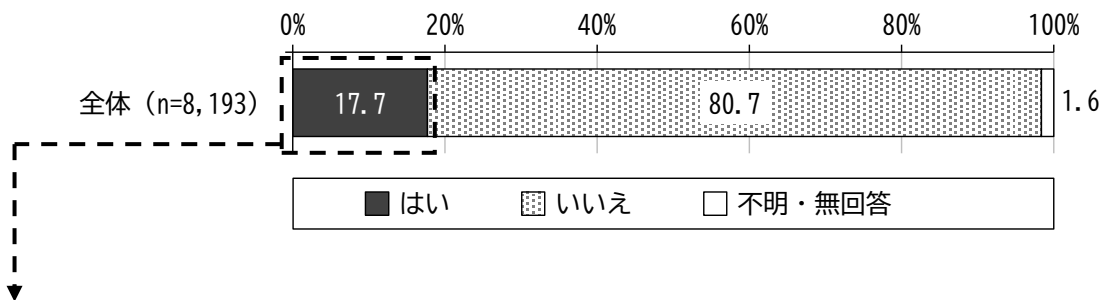
【15分くらい歩いているか】

○15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が67.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.9%、「できない」が10.0%となっています。



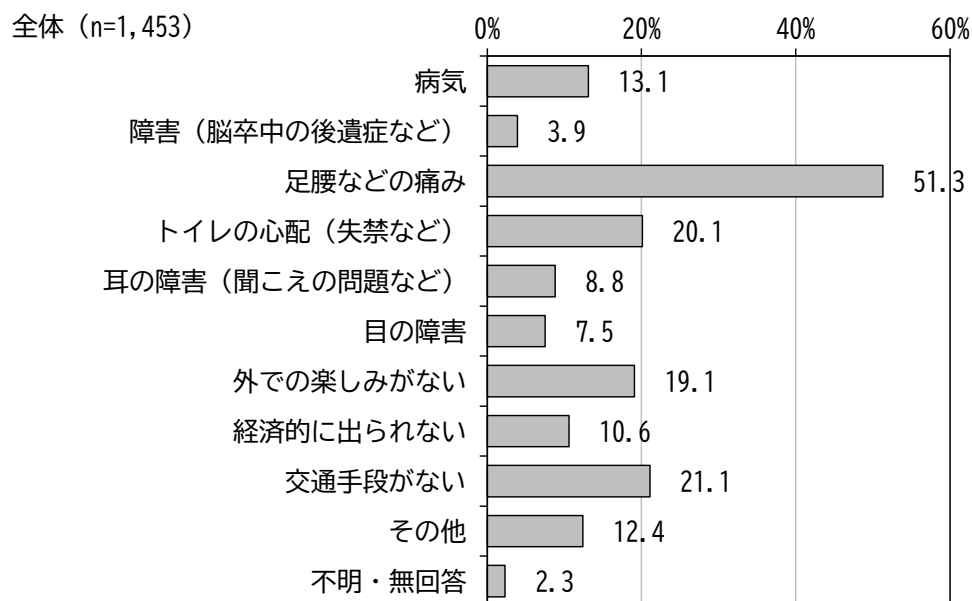
【外出を控えているか】

○外出を控えているかについてみると、「いいえ」が80.7%と、「はい」の17.7%を上回っています。



【外出を控えている理由】

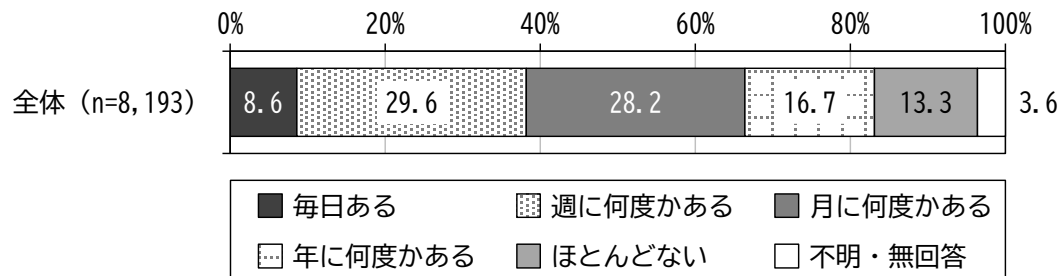
○外出を控えている理由についてみると、「足腰などの痛み」が51.3%と最も高く、次いで「交通手段がない」が21.1%、「トイレの心配（失禁など）」が20.1%となっています。



（３）人とのつながりや地域参画の状況

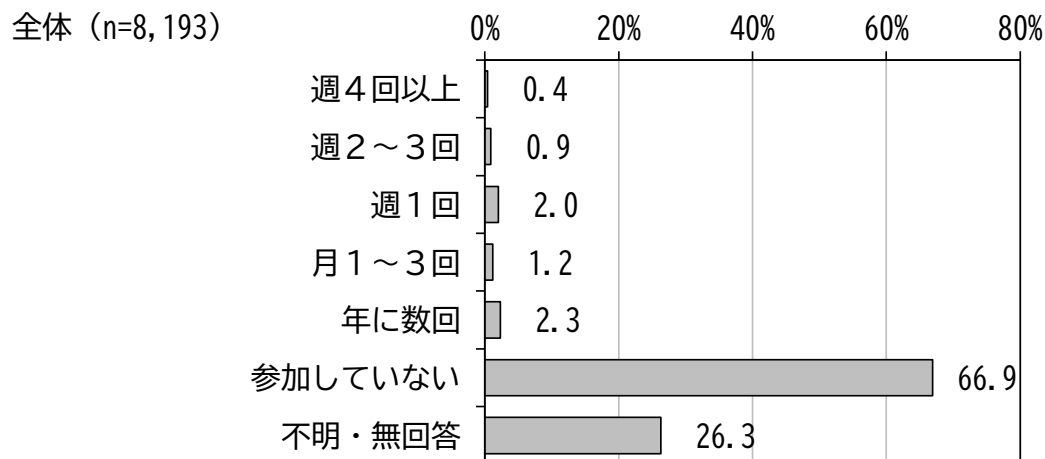
【友人・知人と会う頻度】

○友人・知人と会う頻度についてみると、「週に何度かある」が29.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が28.2%、「年に何度かある」が16.7%となっています。



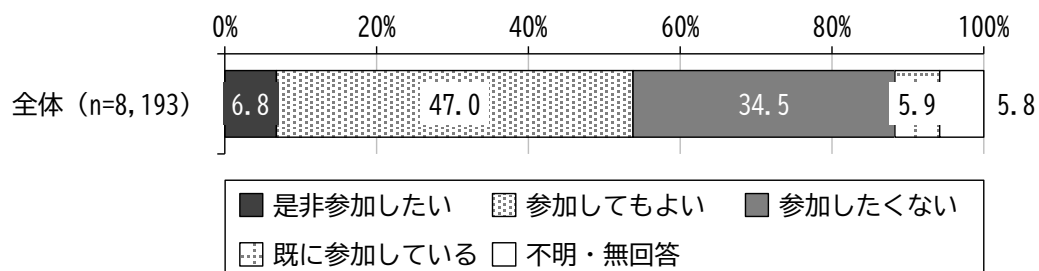
【介護予防のための通いの場の参加状況】

○市や町が行っている介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加しているかについてみると、「参加していない」が66.9%と最も高く、次いで「年に数回」が2.3%、「週1回」が2.0%となっています。



【活動への参加意向】

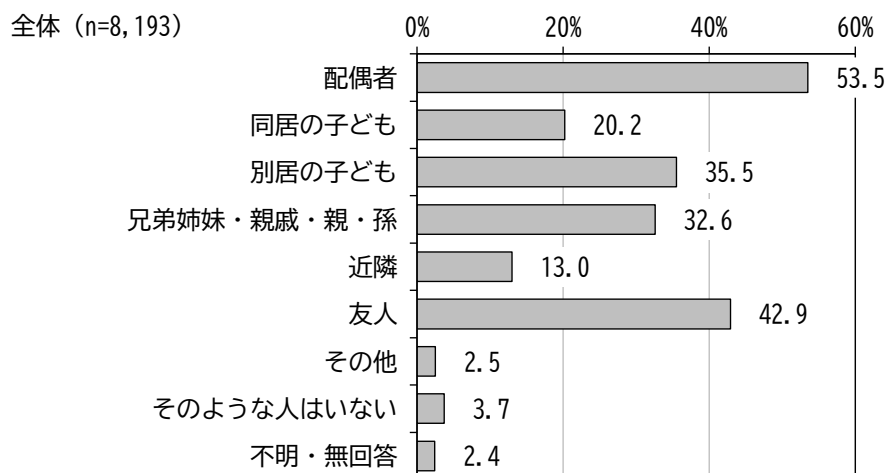
○健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについてみると、「参加してもよい」が47.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が34.5%、「是非参加したい」が6.8%となっています。



（４）困りごとや悩みごとの相談

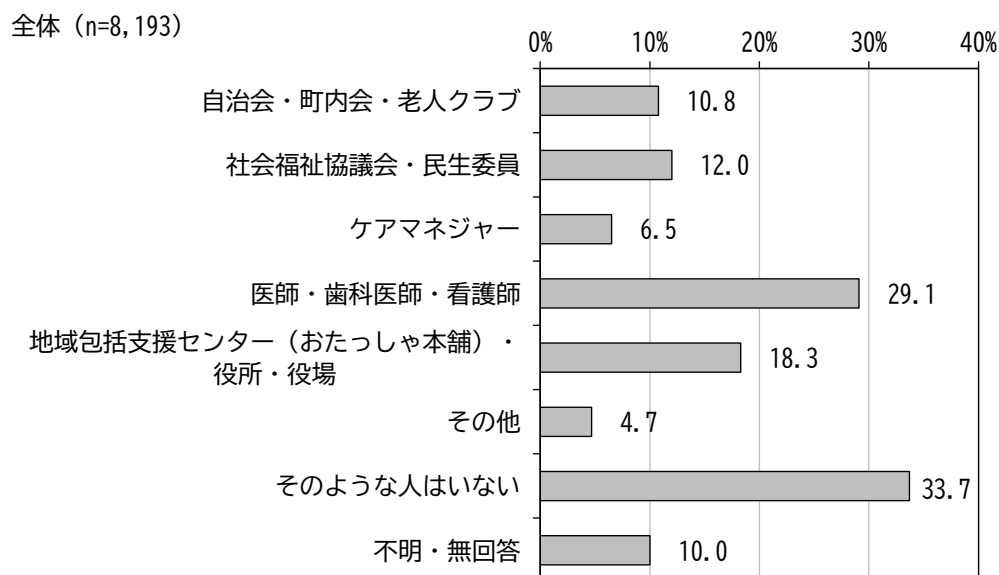
【心配事や愚痴を聞いてくれる人】

○心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が53.5%と最も高く、次いで「友人」が42.9%、「別居の子ども」が35.5%となっています。



【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手】

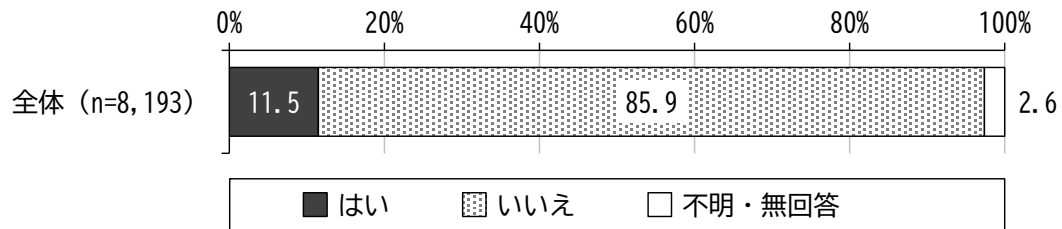
○家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が33.7%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.1%、「地域包括支援センター（おたっしや本舗）・役所・役場」が18.3%となっています。



（５）認知症について

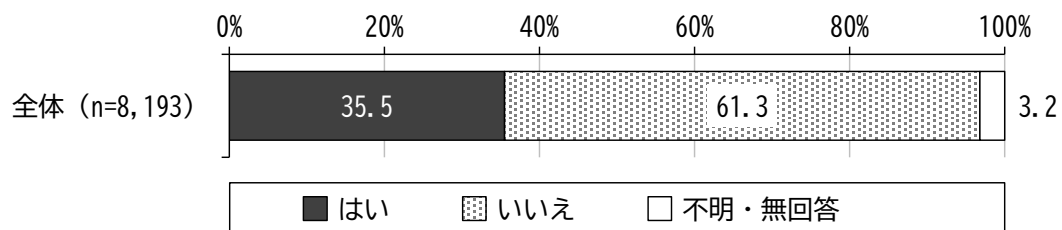
【認知症の人が身近にいるか】

○認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「いいえ」が85.9%と、「はい」の11.5%を上回っています。



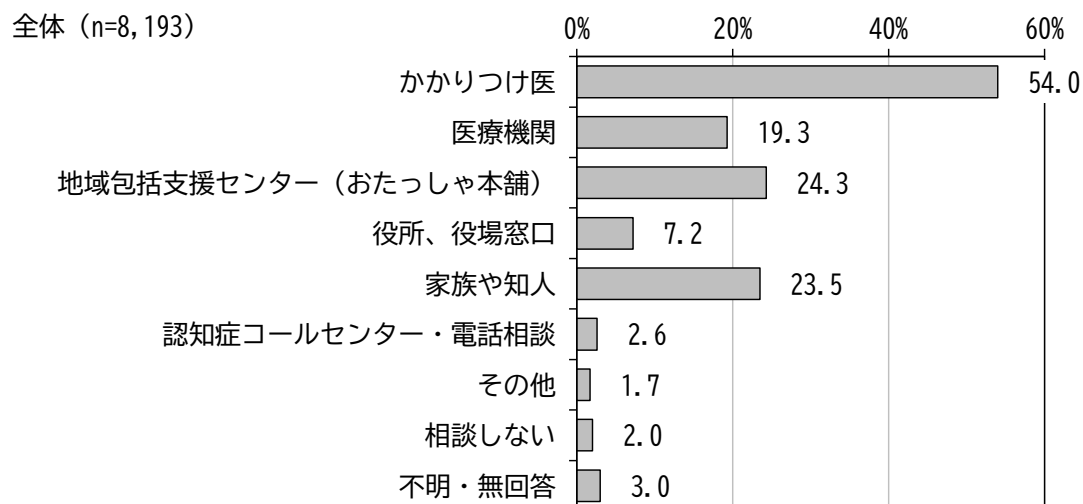
【認知症に関する相談窓口の認知度】

○認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、「いいえ」が61.3%と、「はい」35.5%を上回っています。



【認知症に関して相談したい人や機関】

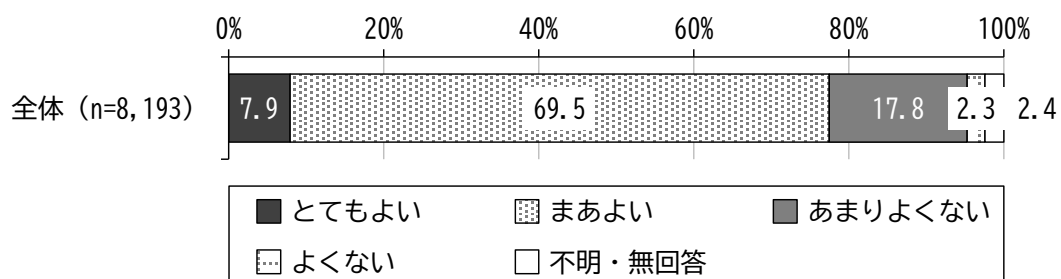
○認知症に関して心配や不安がある場合、どこに相談しようと思うかについてみると、「かかりつけ医」が54.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター（おたっしゃ本舗）」が24.3%、「家族や知人」が23.5%となっています。



（６）主観的な健康状態、幸福感、孤独感

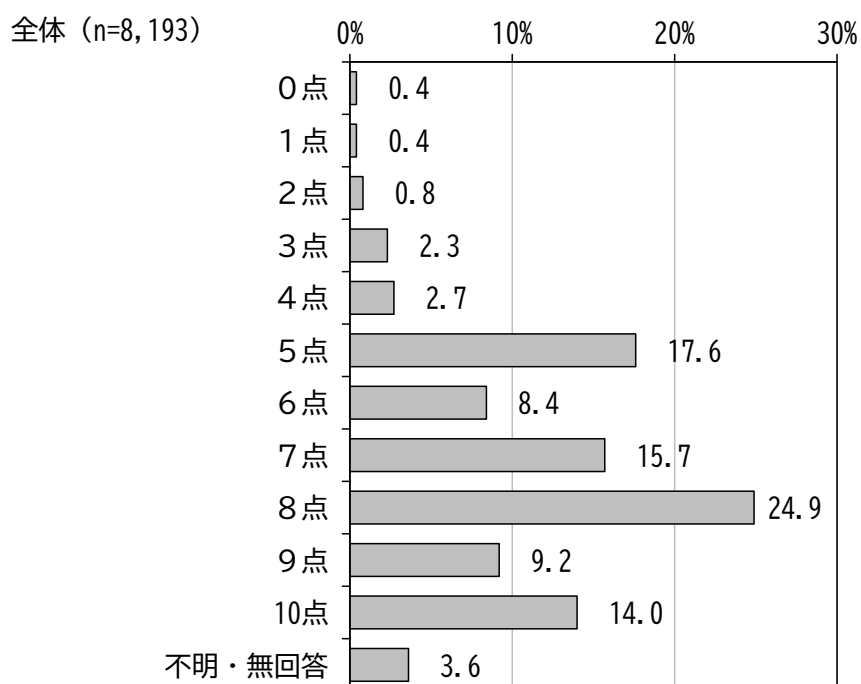
【健康状態】

○現在の健康状態についてみると、「まあよい」が 69.5%と最も高く、次いで「あまりよくない」が 17.8%、「とてもよい」が 7.9%となっています。



【幸福感】

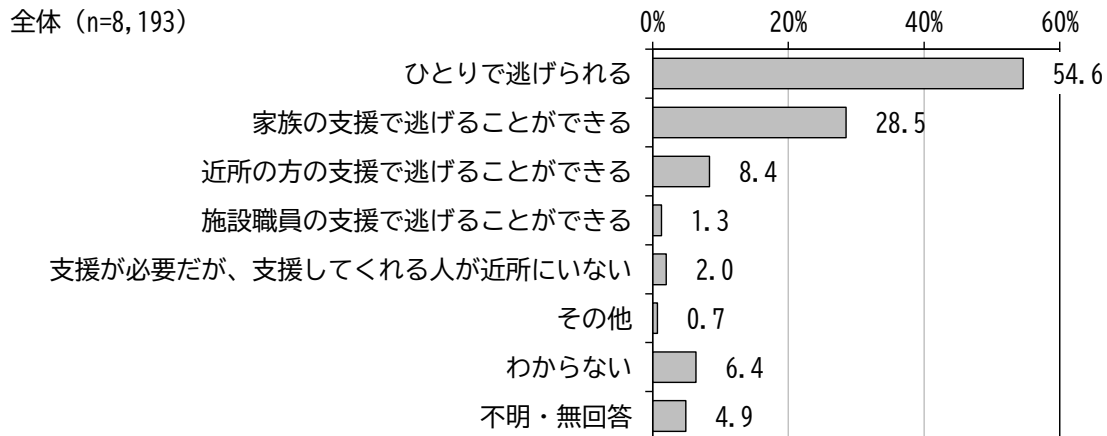
○現在どの程度幸せかについてみると、「8点」が 24.9%と最も高く、次いで「5点」が 17.6%、「7点」が 15.7%となっています。



(7) 防災、防犯

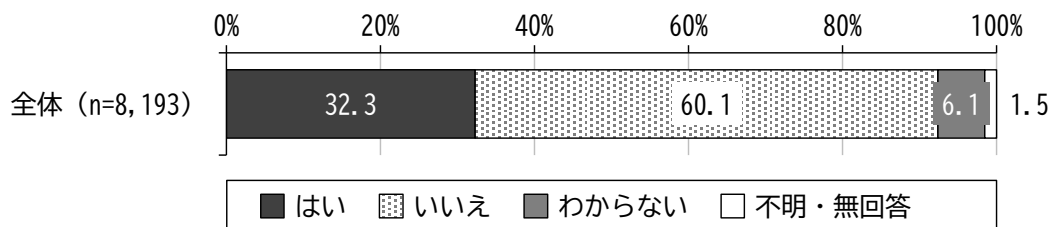
【災害が起きたときの避難】

○地震や火災等の突発的な災害が起きた場合、どのように避難するかについてみると、「ひとりで逃げられる」が54.6%と最も高く、次いで「家族の支援で逃げることができる」が28.5%、「近所の方の支援で逃げることができる」が8.4%となっています。



【特殊詐欺や悪質な訪問を受けた経験】

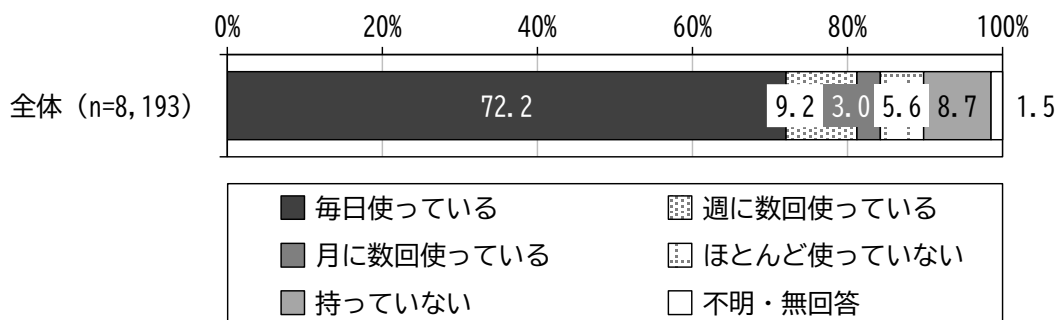
○特殊詐欺や悪質商法の電話・訪問を受けたことがあるかについてみると、「いいえ」が60.1%と最も高く、次いで「はい」が32.3%、「わからない」が6.1%となっています。



（８）情報の取得及びデジタル機器の活用状況

【デジタル機器の使用状況】

○スマートフォンや携帯電話、タブレットをどのくらい使っているかについてみると、「毎日使っている」が72.2%と最も高く、次いで「週に数回使っている」が9.2%、「持っていない」が8.7%となっています。



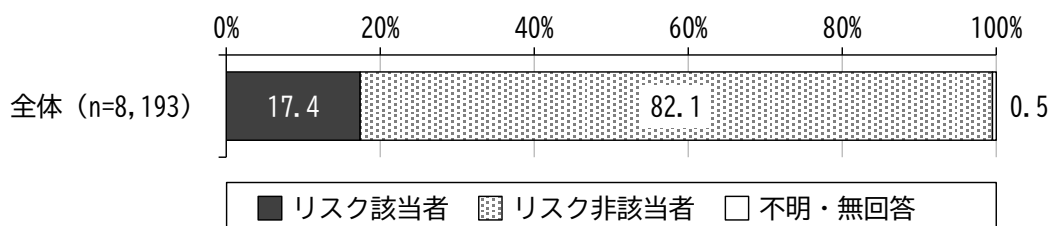
（９）リスク判定

リスク判定とは…

アンケート調査の回答結果を基に、将来的に介護が必要となる可能性がある人を判定し、その状況を算出しました。

【運動機能低下リスク】

○運動器機能低下のリスクについてみると、「リスク非該当者」が82.1%と、「リスク該当者」の17.4%を上回っています。

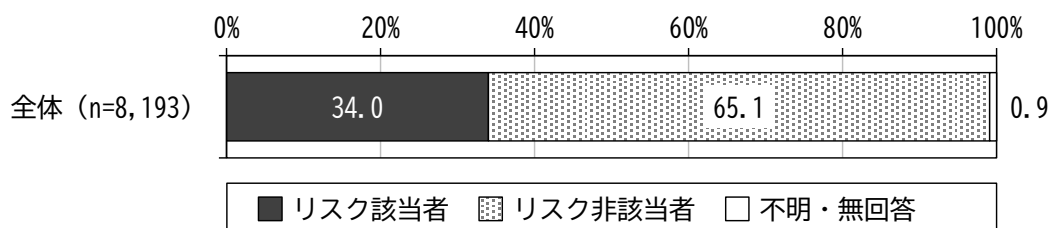


判定項目

項目	該当選択肢	備考
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない	3問以上該当で リスク有
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない	
15分位続けて歩いていますか	できない	
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある/1度ある	
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である/やや不安である	

【転倒のリスク】

○転倒のリスクについてみると、「リスク非該当者」が 65.1%と、「リスク該当者」の 34.0%を上回っています。

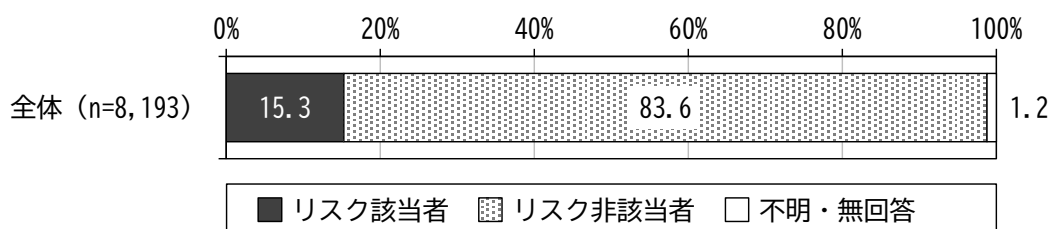


判定項目

項目	該当選択肢	備考
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある/1度ある	該当でリスク有

【閉じこもりのリスク】

○閉じこもりのリスクについてみると、「リスク非該当者」が 83.6%と、「リスク該当者」の 15.3%を上回っています。

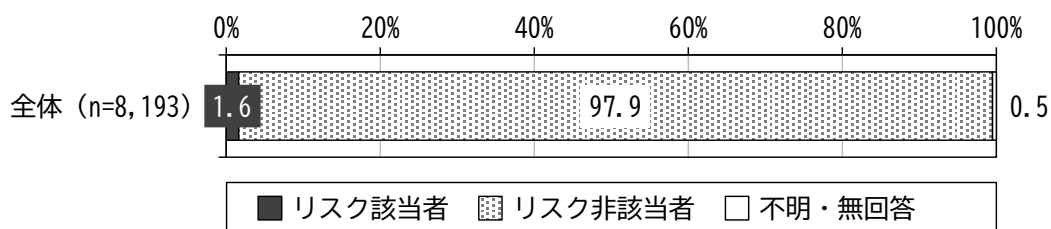


判定項目

調査項目	該当選択肢	備考
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回	該当でリスク有

【低栄養のリスク】

○低栄養についてみると、「リスク非該当者」が 97.9%と、「リスク該当者」の 1.6%を上回っています。



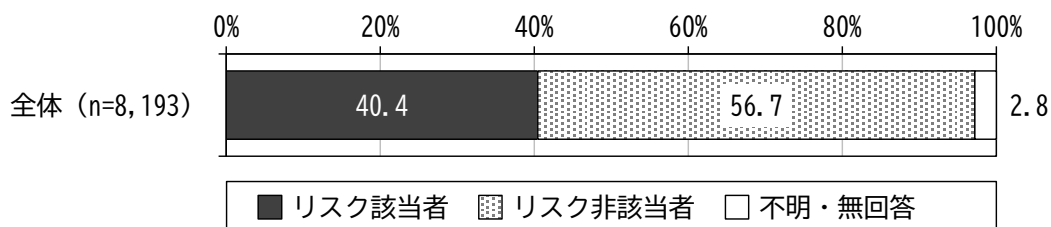
判定項目

項目	該当選択肢	備考
身長・体重をお教えてください	BMI ≤ 18.5	2問とも該当でリスク有
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい	

※BMI=体重÷身長²

【認知機能低下のリスク】

○認知機能低下のリスクについてみると、「リスク非該当者」が 56.7%と、「リスク該当者」の 40.4%を上回っています。

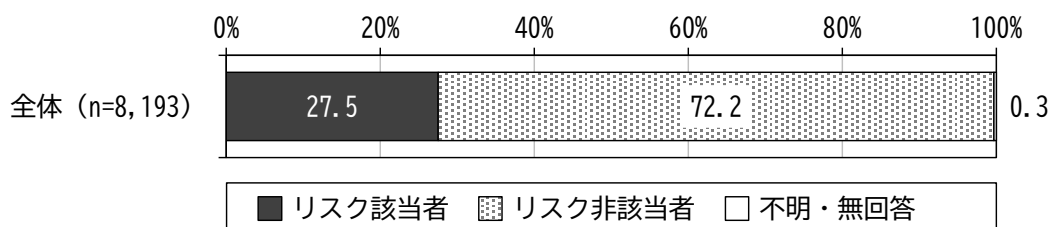


判定項目

項目	該当選択肢	備考
物忘れが多いと感じますか	はい	該当でリスク有

【口腔機能低下のリスク】

○口腔機能低下のリスクについてみると、「リスク非該当者」が72.2%と、「リスク該当者」の27.5%を上回っています。

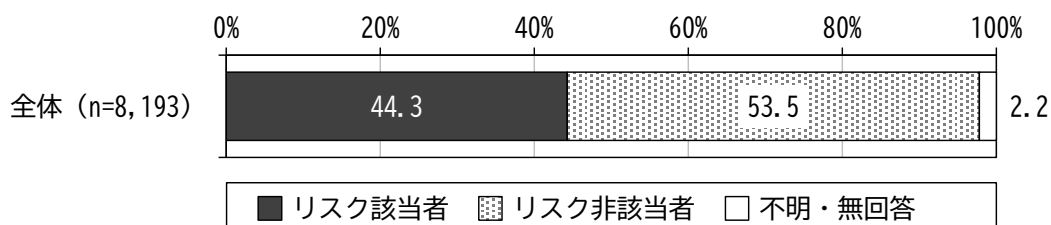


判定項目

項目	該当選択肢	備考
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	2問以上該当で リスク有
お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	
口の渇きが気になりますか	はい	

【うつ傾向】

○うつ傾向についてみると、「リスク非該当者」が53.5%と、「リスク該当者」の44.3%を上回っています。

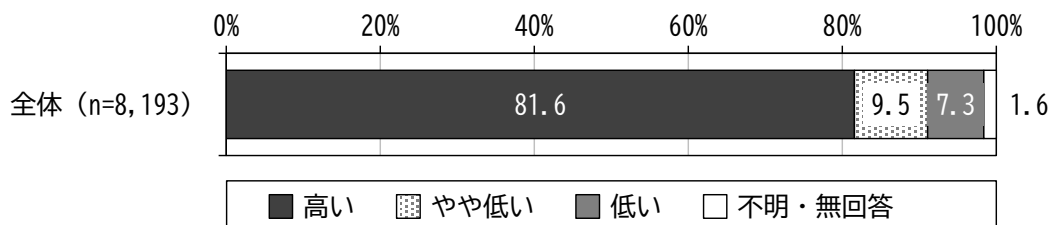


判定項目

項目	該当選択肢	備考
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい	1問以上該当で リスク有
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい	

【IADL（手段的日常生活動作）】

○IADL（手段的日常生活動作）についてみると、「高い」が81.6%と最も高く、次いで「やや低い」が9.5%、「低い」が7.3%となっています。



判定項目

項目	該当選択肢	備考
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している/ できるけどしていない	該当選択肢が 5問で「高い」、 4問で「やや低い」、 3問以下で「低い」
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している/ できるけどしていない	
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している/ できるけどしていない	
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している/ できるけどしていない	
自分で預貯金のおし入れをしていますか	できるし、している/ できるけどしていない	

IADL（手段的日常生活動作）とは…

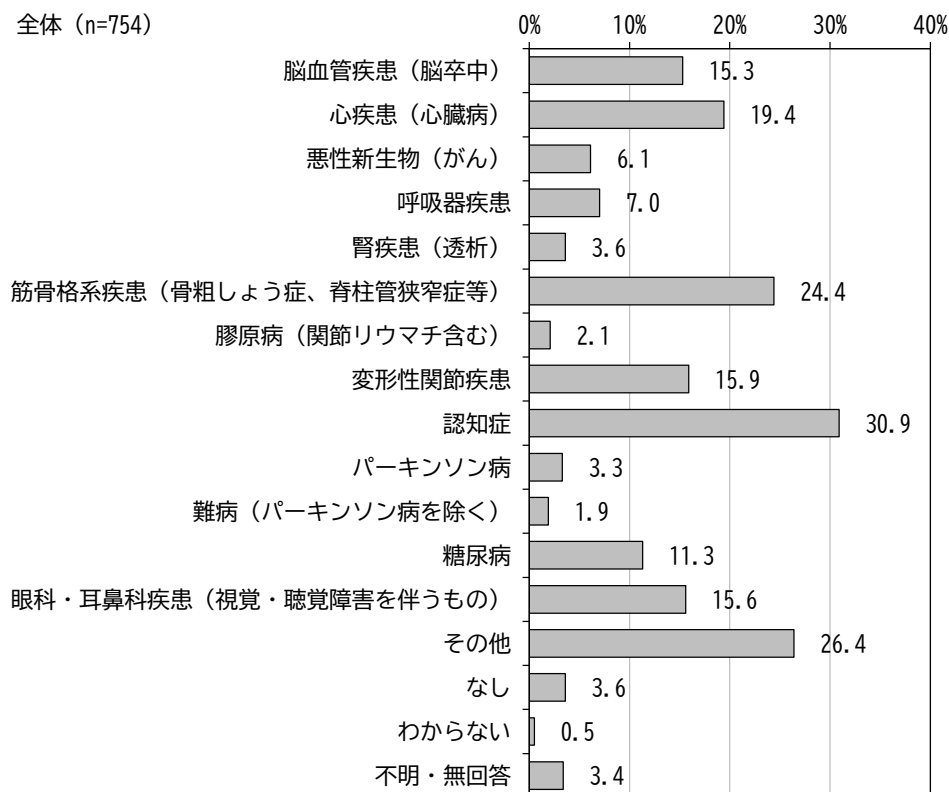
買い物、食事の準備、掃除・洗濯、金銭管理、服薬管理、交通機関の利用など、日常生活を自立して送るために必要な、より複雑な活動のことを指します。基本的な生活動作（食事、入浴、着替えなど）よりも高い判断力や実行力が必要とされ、生活機能や自立度を把握する指標として用いられます。

3 在宅介護実態調査の結果（抜粋）

（１）在宅介護の状況

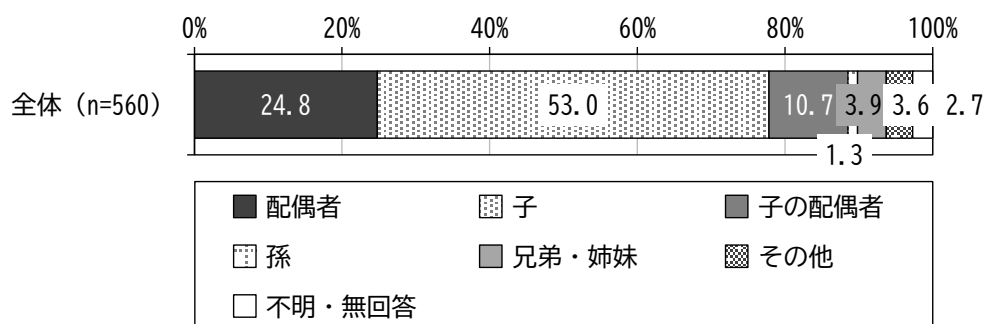
【現在抱えている傷病】

○本人（認定調査対象者）が抱えている傷病についてみると、「認知症」が30.9%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.4%、「心疾患（心臓病）」が19.4%となっています。



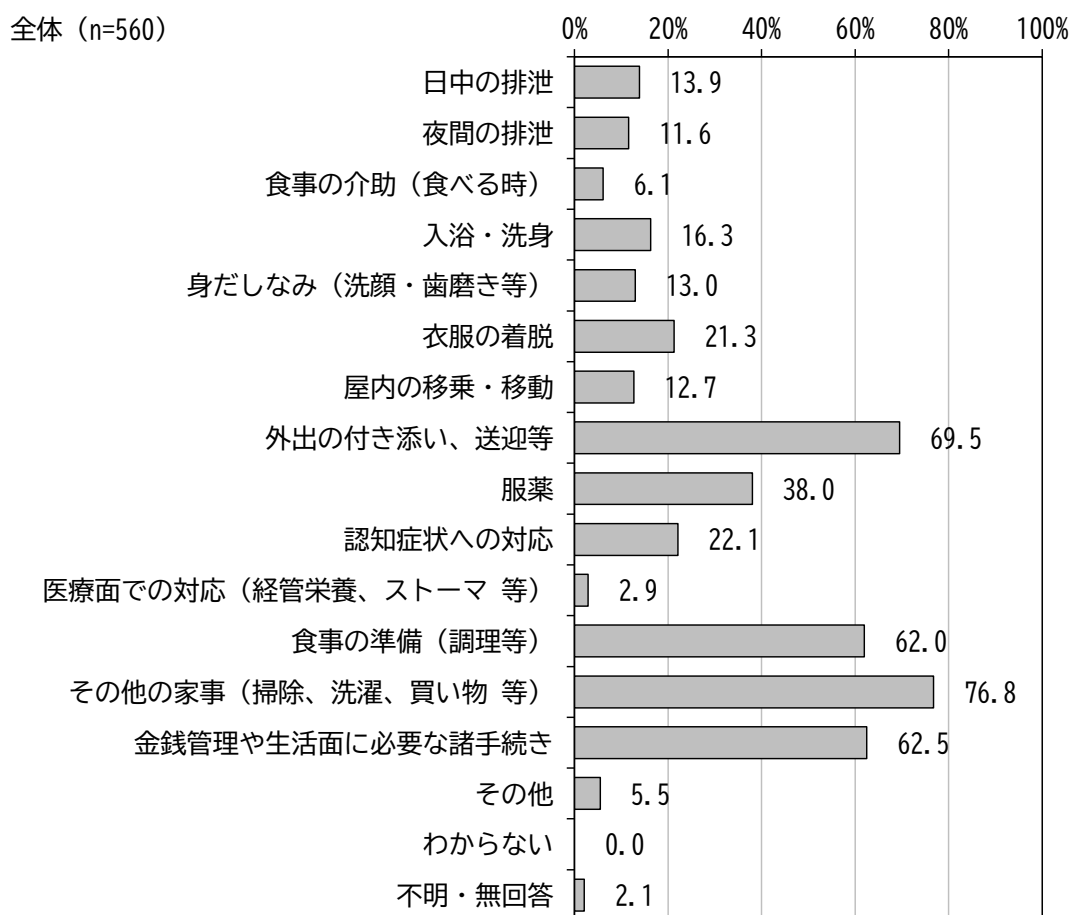
【主な介護者】

○主な介護者についてみると、「子」が53.0%と最も高く、次いで「配偶者」が24.8%、「子の配偶者」が10.7%となっています。



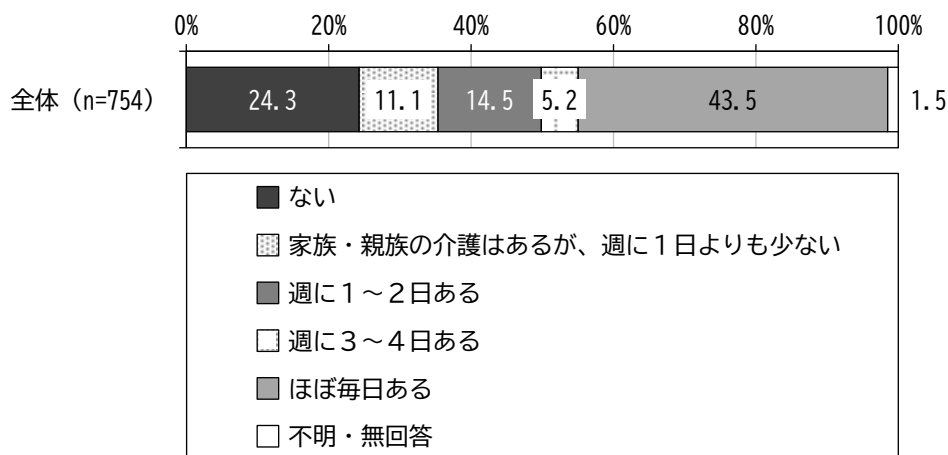
【主な介護者が行っている介護】

○主な介護者が行っている介護についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 76.8%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 69.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 62.5%となっています。



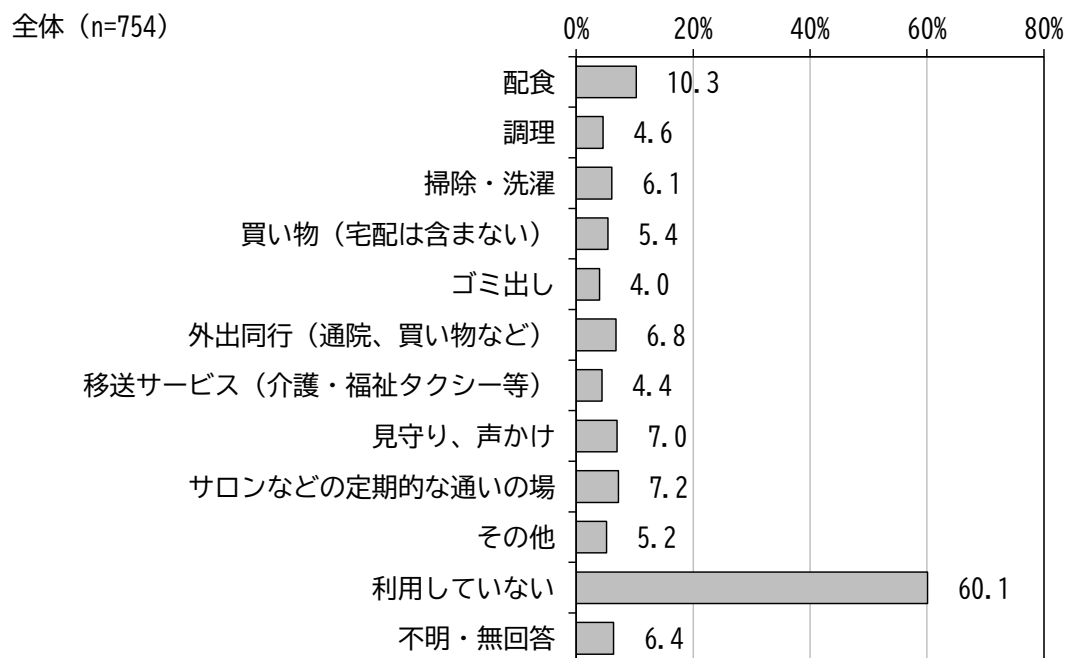
【主な介護者（家族や親族）からの介護の頻度】

○家族や親族からの介護の頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が 43.5%と最も高く、次いで「ない」が 24.3%、「週に1～2日ある」が 14.5%となっています。



【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】

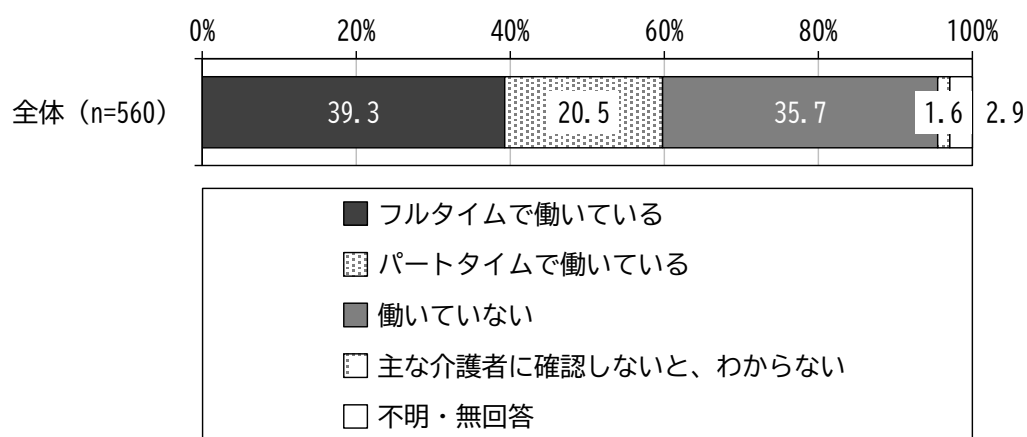
○現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が60.1%と最も高く、次いで「配食」が10.3%、「サロンなどの定期的な通いの場」が7.2%となっています。



（２）主な介護者の就労状況

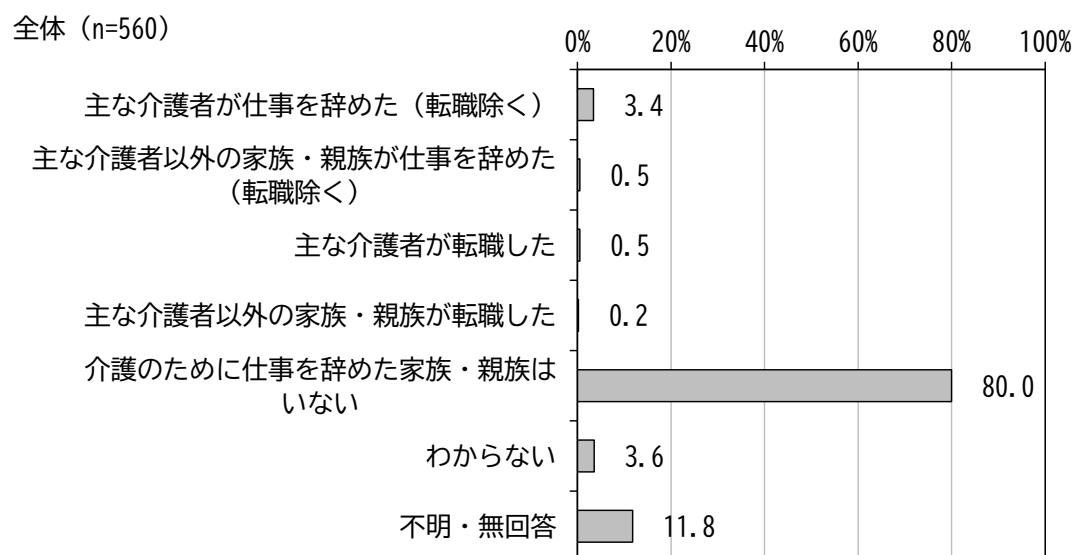
【主な介護者の勤務形態】

○主な介護者の勤務形態についてみると、「フルタイムで働いている」が39.3%と最も高く、次いで「働いていない」が35.7%、「パートタイムで働いている」が20.5%となっています。



【介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無】

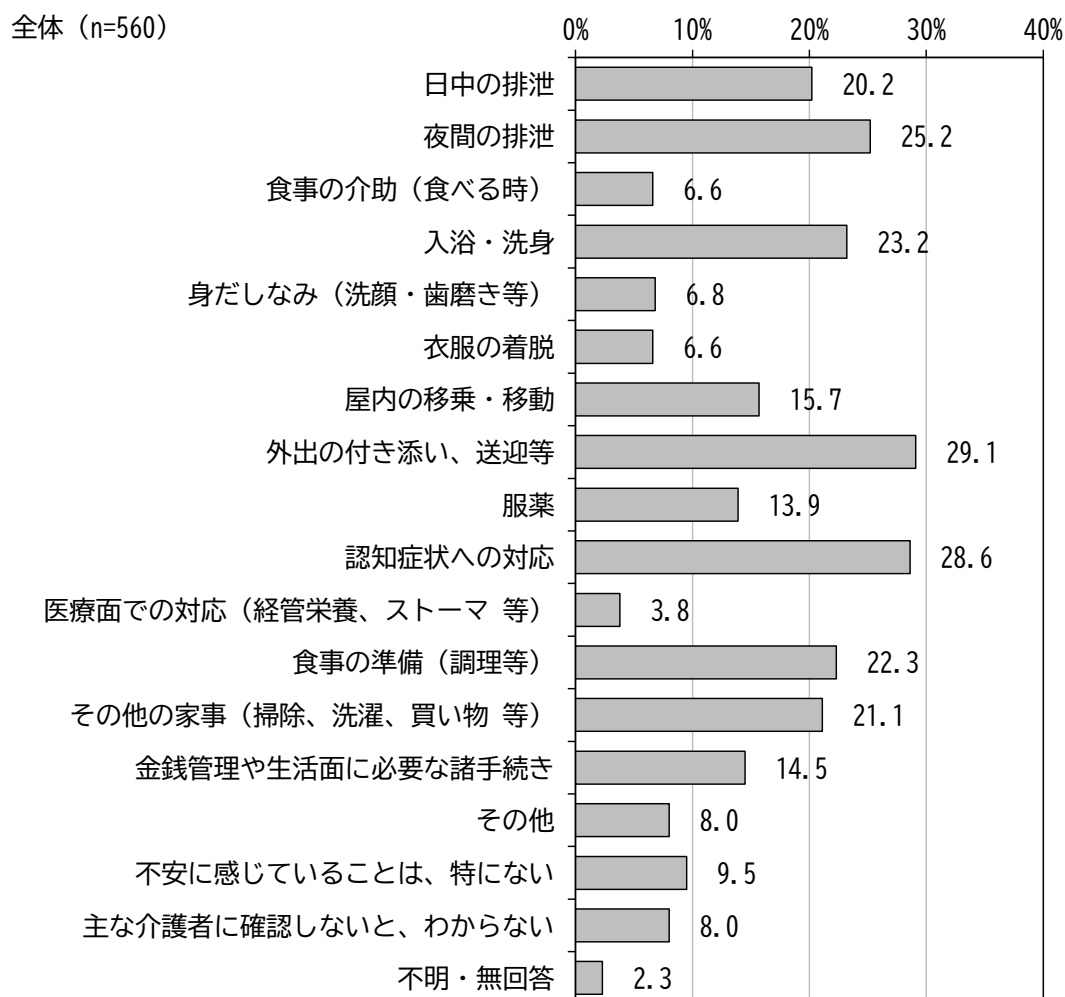
○介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた（もしくは転職した）家族や親族についてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が80.0%と最も高く、次いで「わからない」が3.6%、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が3.4%となっています。



（３）在宅生活の継続に向けた支援・サービス提供体制

【主な介護者が不安を感じる介護】

○現在の生活を継続していくにあたり、主な介護者が不安を感じる介護等についてみると、「外出の付き添い、送迎等」が 29.1%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が 28.6%、「夜間の排泄」が 25.2%となっています。



【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

○今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「特になし」が42.0%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が21.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.6%となっています。

